

- 問1 応仁の乱以降、農民や武士が団結して守護大名を倒し、自分たちで地域を治めた動きの一つを何という？
- 問2 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた「七・五・七・五」を基調とするリズムを何といいますか？
- 問3 1428年に近江国で起こり、馬借らが蜂起した民衆とともに幕府へ徳政を求めた一揆を何という？
- 問4 室町時代の中期、京都の東山に山荘を建てて文化を奨励した第8代将軍は誰？
- 問5 室町時代に惣村で村の運営のために行われた、住民による話し合いの集会を何という？
- 問6 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書を何という？
- 問7 室町時代に町衆が主体となって祭礼が運営された、京都にある神社を何という？
- 問8 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？
- 問9 足利義政の後継者争いをきっかけに発生した応仁の乱は、何年間続いた？
- 問10 15世紀後半、細川氏と山名氏が対立し、将軍の跡継ぎ問題などが絡んで京都で起こった大規模な内乱を何という？
- 問11 堺の町で、有力な商人たちが組織した合議制の運営組織のことを何という？
- 問12 室町時代、京都に慈照寺銀閣を建てて、簡素で気品ある文化の発展を支えた将軍は誰？
- 問13 室町時代、堺や博多などが大きく発展するきっかけとなった、明との間で行われた貿易を何という？
- 問14 鎌倉府の長官として、足利氏の一族が世襲して関東地方の軍事や行政を司った役職を何という？
- 問15 能の母体となった、民衆の間で行われていた芸能を何という？
- 問16 勘合貿易において、正規の貿易船を証明するために、明側と日本側で半分ずつ持った札のことを何という？
- 問17 室町時代、3代将軍足利義満が京都の北山に建てた、北山文化を代表する建築物を何という？
- 問18 明に渡って絵画を学び、独自の力強い水墨画を大成させた画僧は誰？
- 問19 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？
- 問20 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？
- 問21 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？
- 問22 室町幕府が、明との貿易船を正式なものと証明するために使用した札を何という？